

平成30年第5回那須烏山市議会12月定例会（第5日）

平成30年12月7日（金）

開議 午前10時00分

閉会 午前10時12分

◎出席議員（17名）

1番	青木敏久	2番	興野一美
3番	堀江清一	4番	荒井浩二
5番	福田長弘	6番	村上進一
7番	矢板清枝	8番	滝口貴史
9番	小堀道和	10番	相馬正典
11番	田島信二	12番	渋谷由放
13番	久保居光一郎	14番	沼田邦彦
15番	中山五男	16番	高田悦男
17番	平塚英教		

◎欠席議員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	川俣純子
副市長	國井豊
教育長	田代和義
会計管理者兼会計課長	滝田勝幸
総合政策課長	石川浩
まちづくり課長	佐藤博樹
総務課長	福田守
税務課長	水上和明
市民課長	佐藤加代子
福祉事務所長兼健康福祉課長	稲葉節子
こども課長	神野久志
農政課長	菊池義夫
商工観光課長	小原沢一幸
環境課長	小林貞大

都市建設課長
上下水道課長
学校教育課長
生涯学習課長
文化振興課長

小田倉 浩
佐藤 光明
岩附 利克
柳田 啓之
糸井 美智子

◎事務局職員出席者

事務局長
書記
書記

大谷 啓夫
菊地 静夫
藤田 真弓

○議事日程

日程 第 1 請願書等審査結果の報告について（議長提出）

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前10時00分開議]

○議長（沼田邦彦） おはようございます。傍聴席の皆様方には、早朝よりお集まりいただきまして、ありがとうございます。

ただいま出席している議員は17名です。定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。

◎日程第1 請願書等審査結果の報告について

○議長（沼田邦彦） 日程第1 請願書等審査結果の報告についてを議題といたします。

文教福祉常任委員会の審査の経過と結果について、文教福祉常任委員会委員長滝口貴史議員の報告を求めます。

文教福祉常任委員会委員長滝口議員。

[文教福祉常任委員会委員長 滝口貴史 登壇]

○文教福祉常任委員会委員長（滝口貴史） おはようございます。文教福祉常任委員会に付された結果報告をさせていただきます。

去る11月30日の本会議におきまして、当文教福祉常任委員会に付託されました陳情書第2号 難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出について、及び陳情書第3号 患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出についての審査の経過とその結果について御報告申し上げます。

12月3日に、委員6名出席のもと、第二委員会室において慎重に審査を行いました。審査に当たっては、陳情者から陳情の趣旨説明を受け、その後、陳情書について各委員からの意見を求めました。

まず、陳情書第2号 難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出についてにつきましても、旧制度の取り扱いに戻してもらいたいとの趣旨ですが、「2014年の制度改正は指定難病の拡充をしており、改正以前に戻すということには賛同できない」、「所得に応じた自己負担は、増加する医療費の状況に鑑みると必要である」との意見があり、採決の結果、全会一致で不採択とすべきものとなりました。

次に、陳情書第3号 患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出についてにつきましても、「費用の心配なく医療を受けられるようにという陳情の趣旨は理解はできるが、75歳以上のみ一律で1割負担のままとすることは、減少する若い世代の負担を増大させることとなるため、所得に応じた自己負担率の引き上げはやむを得ない」、「限られた財源の中、社会保障制度を維持するためには、皆で負担するということも必要である」との意見があり、

採決の結果、全会一致で不採択とすべきものとしたしました。

以上で審査結果の報告を終わります。

○議長（沼田邦彦） 以上で、常任委員会委員長の報告が終わりました。

これより質疑に入ります。

17番平塚議員。

○17番（平塚英教） 委員長にお尋ねいたしますけども、まず難病患者なんですけども、那須烏山市において今現在、難病患者として認定されている方がどれだけいて、その制度の助成の申請をされている方が何名いるのか教えていただきたいと思います。

○議長（沼田邦彦） 8番滝口議員。

○8番（滝口貴史） そこまでは議論をしておりません。

○17番（平塚英教） わかりました。

○議長（沼田邦彦） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（沼田邦彦） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（沼田邦彦） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより常任委員会委員長報告の審査結果について、討論に入ります。

まず、報告に対する反対討論の発言を許します。

17番平塚議員。

〔17番 平塚英教 登壇〕

○17番（平塚英教） 17番平塚英教でございます。

まず、陳情書第2号 難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出について、委員会の不採択に反対をする討論を行います。

今、質疑にもありましたように、委員会のほうの審査では、今現在、本市に難病患者がどれほどいるのかというのも確認しないまま、これを不採択にしたということについては議論が不十分ではなかったかなと。

私はここに来る前に健康福祉課のほうに寄りまして確認をしてまいりました。18歳以上の方が161名、小児慢性疾患の方が23名ということで、現在184名の方が難病としてこの助成申請をしているということでございます。担当課のほうに、これは厚生労働省では将来うんとふえるというような見込みを立てているというようなことなんだけどどうなんだろうと

言ったら、それは今のところ、将来の見込みはわかりませんが、今これまでの趨勢を見ると決してふえていないと。これからも同じような数字で行くのではないのでしょうかと、こういうようなお話でございました。

このようなことで、今回、2014年5月に難病患者に対する医療費等に関する法律が成立して、対象疾病の大幅な拡大がされて、自己負担上限額がレセプト単位から患者単位になった等の改善が図られたことはありましたが、その一方で、自己負担の引き上げとか認定基準の強化と、こういうことが同時にやられたところでございます。厚生労働省のほうでは今78万人の難病患者が、これは2011年でございますが、あったわけでございますけれども、これが150万人にふえるのではないかとというような見込みを立てておりましたが、実際には2015年は94万人ということでございます。

こういうことで、基本的に難病患者にもこのようなことを理由にして国の負担を患者にもしわ寄せすると、こういうようなやり方に対して、これを元に戻せということでございますので、これについては当然改善を求める、こういう必要があるということで、私は反対することに反対をいたします。

次に、陳情書第3号でございますが、患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出ということでございます。2018年5月28日に、財務省の財政制度審議会、新たな財政健全化計画等に関する建議の中で、できる限り速やかに75歳以上の後期高齢者の自己負担を1割から2割に引き上げるべきだと、こういう提言をしております。まさにこれは財界主導で、いわゆるこれまで進めてきたように医療、介護、福祉、年金、生活保護など社会保障のあらゆる分野で改悪を進めておりますけれども、そういう中で、この高齢者の医療費もふやすと。これを皮切りにしながら、当然、あらゆる点で国民の医療費の負担、窓口負担をふやしていこうと、こういうような流れの中で、この1割から2割負担にするということでございますし、受診するたびに窓口の負担を上乗せするとか、痛みどめなどは保険を外して患者負担にするとか、こういうようないわゆる医療費の患者負担をどんどん広げていこうと、こういうような国の流れの中で進めていることでございますので、やはり私どもは市民の命と健康を守るという立場に立って、このような医療費を患者にどんどん押しつけるとか負担をしょわせるとか、こういうことで国の社会保障をどんどん縮めていくと、こういうやり方には到底納得することができません。

よって、この患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出についての反対には同意できませんので、反対の討論とさせていただきます。

○議長（沼田邦彦） 次に、賛成討論の発言を許します。討論はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（沼田邦彦） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。日程第1 請願書等審査結果の報告についてのうち、文教福祉常任委員会委員長から審査報告のあった陳情書第2号 難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出について、報告のとおり不採択とすることに賛成議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（沼田邦彦） 起立多数と認めます。

よって、陳情書第2号については、文教福祉常任委員会委員長の報告のとおり不採択とすることに決定いたしました。

次に、陳情書第3号 患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出について、文教福祉常任委員会委員長の報告のとおり不採択とすることに賛成議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（沼田邦彦） 起立多数と認めます。

よって、陳情書第3号については、文教福祉常任委員会委員長の報告のとおり不採択とすることに決定いたしました。

○議長（沼田邦彦） 以上で11月30日から本日まで8日間にわたりました本定例会の日程は全部終了いたしました。各位の御協力、大変ありがとうございました。

以上をもちまして、平成30年第5回那須烏山市議会12月定例会を閉会いたします。大変お疲れさまでございました。

〔午前10時12分閉会〕

上記会議録を証するため下記署名いたします。

平成31年2月20日

議 長 沼 田 邦 彦

署 名 議 員 小 堀 道 和

署 名 議 員 相 馬 正 典